

1. 過ぎ越しの食事の後のペテロの動き 27-31、43-50

【木曜日】

- ・過ぎ越しの食事の準備 マルコ14:12-16
- ・過ぎ越しの食事 マルコ14:17-31 ユダの裏切りとペテロの否認の予告
- ・ゲッセマネの園での祈り マルコ14:32-42 祈りの最中に眠ってしまったペテロ

【金曜日】

- ・イエスの逮捕 マルコ14:43-52 ペテロが大祭司のしもべに斬りかかる。
- ・アンナスによる尋問 ヨハネ18:12-24
- ・カヤパによる尋問 マルコ14:53-65
- ・ペテロの否認 マルコ14:66-72

この後、イエスの復活までペテロは登場しない。

27 「わたしは羊飼いを打つ…」

- ・ゼカリヤ13章7節からの引用

剣よ、目覚めよ。わたしの羊飼いに向かい、わたしの仲間に向かえ——万軍の主のことば——。羊飼いを打て。すると、羊の群れは散らされて行き、わたしは、この手を小さい者たちに向ける。

28 「しかしわたしは、よみがえった後、あなたがたより先にガリラヤへ行きます」

- ・ヨハネ21章の出来事

29 「たとえ皆がつまずいても、私はつまずきません」

<p>Mark 14:29 すると、ペテロがイエスに言った。 <u>「たとえ皆がつまずいても、私はつまずきません。」</u></p> <p>Mark 14:31 ペテロは力を込めて言い張った。 「たとえ、ご一緒に死ななければならぬとしても、あなたを知らないなどとは決して申しません。」皆も同じように言った。</p>	<p>Matt. 26:33 すると、ペテロがイエスに答えた。 <u>「たとえ皆があなたに つまずいても、私は決して つまずきません。」</u></p> <p>Matt. 26:35 ペテロは言った。「たとえ、あなたと一緒に死ななければならぬとしても、あなたを知らないなどとは決して申しません。」弟子たちはみな同じように言った。</p>	<p>Luke 22:33 シモンはイエスに言った。「主よ。あなたとご一緒なら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」</p>	<p>John 13:36 シモン・ペテロがイエスに言った。「主よ、どこにおいでになるのですか。」イエスは答えられた。「わたしが行くところに、あなたは今ついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」</p> <p>John 13:37 ペテロはイエスに言った。「主よ、なぜ今ついて行けないのですか。あなたのためなら、いのちも捨てます。」</p>
---	--	--	---

- ・マルコ、マタイでは、ペテロが他の弟子とは違うということが強調されている。

30 「鶏が二度鳴く前に」

Mark 14:30 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。まさに今夜、鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います。」	Matt. 26:34 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今夜、鶏が鳴く前に三度わたしを知らないと言います。」	Luke 22:34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ、あなたに言っておきます。今日、鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」	John 13:38 イエスは答えられた。「わたしのためにいのちも捨てるのですか。まことに、まことに、あなたに言います。鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」
---	--	---	---

- ・マルコだけに見られる

37 「ペテロに言われた」

Mark 14:37 イエスは戻り、彼らが眠っているのを見て、 <u>ペテロに言われた</u> 。「シモン、眠っているのですか。一時間でも、目を覚ましていられたのですか。」	Matt. 26:40 それから、イエスは弟子たちのところに戻って来て、彼らが眠っているのを見、 <u>ペテロに言われた</u> 。「あなたがたはこのように、一時間でも、わたしとともに目を覚ましていられたのですか。」	Luke 22:45 イエスが祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに行つてご覧になると、彼らは悲しみの果てに眠り込んでいた。 Luke 22:46 そこで、彼らに言われた。「どうして眠っているのか。誘惑に陥らないように、起きて祈っていなさい。」	ヨハネには記述なし
--	--	---	-----------

- ・マルコ、マタイではペテロに言われたことが強調。ペテロが眠ったことが強調されている。
- ・イエスはペテロに「霊は燃えても肉体は弱い」と言われた。

47 「そばに立っていた一人が、剣を抜いて大祭司のしもべに切りかかり…」

Mark 14:47 そのとき、そばに立っていた一人が、剣を抜いて大祭司のしもべに切りかかり、その耳を切り落とした。	Matt. 26:51 すると、イエスと一緒にいた者たちの一人が、見よ、手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべに切りかかり、その耳を切り落とした。 Matt. 26:52 そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに取めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。」	Luke 22:49 イエスの周りにいた者たちは、事の成り行きを見て、「主よ、剣で切りつけまじょうか」と言った。 Luke 22:50 そして、そのうちの一人が大祭司のしもべに切りかかり、右の耳を切り落とした。 Luke 22:51 するとイエスは、「やめなさい。そこまでしなさい」と言われた。そして、耳にさわって彼を癒やされた。	John 18:10 シモン・ペテロは剣を持っていたので、それを抜いて、大祭司のしもべに切りかかり、右の耳を切り落とした。そのしもべの名はマルコスであった。 John 18:11 イエスはペテロに言われた。「剣をさやに取めなさい。父がわたしに下さった杯を飲まずにいられるだろうか。」
--	--	---	--

- ・マタイ、ルカではペテロの行動に対してイエスが否定的な理解を示す。ルカではペテロがイエスに直前に相談している。ヨハネでは斬りかかったのがペテロであると明らかにされている。マルコは最もシンプルに書く。

## 2. ペテロの否認 66-72節

### 66 「下の中庭」

- ・大祭司カヤパの家の庭。

### 66 「大祭司の召使いの女の一人」

- ・イエスは大祭司とサンヘドリンの議員の前で語るべきことを告白したのに対し（53-65節）、ペテロは大祭司の召使いの女から尋問されて、動揺している。対照的。

### 67 「ペテロが火に当たっているのを見かけると」

- ・エルサレムは海拔約800mで、この時期は3-4月であり、過ぎ越しの食事とゲッセマネの園での祈りを終えた深夜であり、寒かった（ヨハネ18:18）。

### 67 「あなたも、ナザレ人イエスと一緒にいましたね」

- ・ペテロはイエスとの距離を保ってついてきて、カヤパの家の庭に入ったが（14:54）、イエスとの仲間だと疑われた。
- ・ペテロの話しぶりから、「ナザレ人」、ガリラヤ訛りを聞き取り、そう考えたのだろう。

### 68 「何を言っているのか分からない…」

- ・直訳「私は知らない。私は理解できない。あなたが何を言っているか」

### 68 「前庭の方に出て行った。」

- ・その場を離れたかったのだろう。

### 68 「すると鶏が鳴いた」

- ・このときの鶏の鳴き声は音声としては聞こえたかもしれないが、ペテロに自らの嘘を自覚させる言葉としてはまだ聞こえなかった。

### 70 「しばらくすると」

- ・ルカ「それから一時間ほどたつと」
- ・二度目の否認から三度目の否認の間は一時間が経過している。ペテロは二度イエスを知らないと言ったが、彼はこの場にい続けた。再び尋ねられることに対する恐れや不安、そうしたものはなかったのだろうか？あったとしても、イエスの行方のほうが気になったのだろうか。

### 70 「ガリラヤ人だから」

- ・マタイでは、「ことばの訛りでわかる」という文言も加わっている。
- ・ガリラヤとエルサレムではアラム語の話し方が異なっていた。

### 71 「するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め」

- ・直訳「ペテロは呪うことと誓うことを始めた」
- 呪うとは、自分の言うことが嘘であったら神に呪われても構わないということ。

### 72 「イエスが自分に話されたことを思い出した」

・さきほどのイエスの言葉（30節）を思い出した。それまでペテロはイエスを知らないと否定しても、深く後悔していなかったように見える。2度の鶏の鳴き声はペテロに対するイエスの呼びかけだったのではないか。

「ペテロの否認」4福音書の比較

<p>Matt. 26:69 ペテロは外の中庭に座っていた。すると召使いの女が一人近づいて来て言った。「あなたもガリラヤ人イエスと一緒にいましたね。」</p>	<p>Mark 14:66 ペテロが下の中庭にいと、大祭司の召使いの女の一人がやって来た。 Mark 14:67 ペテロが火に当たっているのを見かけると、彼をじっと見つめて言った。「あなたも、ナザレ人イエスと一緒にいましたね。」</p>	<p>Luke 22:56 すると、ある召使いの女が、明かりの近くに座っているペテロを目にし、じっと見つめて言った。「この人も、イエスと一緒にいました。」</p>	<p>John 18:16 ペテロは外で門のところに立っていた。それで、大祭司の知り合いだったもう一人の弟子が出て来て、門番の女に話し、ペテロを中に入れた。 John 18:17 すると、門番をしていた召使いの女がペテロに、「あなたも、あの人の弟子ではないでしょうね」と言った。</p>
<p>Matt. 26:70 ペテロは皆の前で否定し、「何を言っているのか、私には分からない」と言った。</p>	<p>Mark 14:68 ペテロはそれを否定して、「何を言っているのか分からない。理解できない」と言って、前庭の方に出て行った。すると鶏が鳴いた。</p>	<p>Luke 22:57 しかし、ペテロはそれを否定して、「いや、私はその人を知らない」と言った。</p>	<p>ペテロは「違う」と言った。</p>
<p>Matt. 26:71 そして入り口まで出て行くと、別の召使いの女が彼を見て、そこにいる人たちに言った。「この人はナザレ人イエスと一緒にいました。」 Matt. 26:72 ペテロは誓って、「そんな人は知らない」と再び否定した。</p>	<p>Mark 14:69 召使いの女はペテロを見て、そばに立っていた人たちに再び言い始めた。「この人はあの人たちの仲間です。」 Mark 14:70 すると、ペテロは再び否定した。</p>	<p>Luke 22:58 しばらくして、ほかの男が彼を見て言った。「あなたも彼らの仲間だ。」 しかし、ペテロは「いや、違う」と言った。</p>	<p>John 18:18 しもべたちや下役たちは、寒かったので炭火を起こし、立って暖まっていた。ペテロも彼らと一緒に立って暖まっていた。 John 18:25 さて、シモン・ペテロは立ったまま暖まっていた。すると、人々は彼に「あなたもあの人の弟子ではないだろうね」と言った。 ペテロは否定して、「弟子ではない」と言った。</p>

<p>Matt. 26:73 しばらくすると、立っていた人たちがペテロに近寄って来て言った。「確かに、あなたもあの人たちの仲間だ。ことばのなまりで分かる。」</p>	<p>しばらくすると、そばに立っていた人たちが、またペテロに言った。「確かに、あなたはあの人たちの仲間だ。ガリラヤ人だから。」</p>	<p>Luke 22:59 それから一時間ほどたつと、また別の男が強く主張した。「確かにこの人も彼と一緒にだった。ガリラヤ人だから。」</p>	<p>John 18:26 大祭司のしもべの一人で、ペテロに耳を切り落とされた人の親類が言った。「あなたが園であの人と一緒にいるのを見たと思うが。」</p>
<p>Matt. 26:74 するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め、「そんな人は知らない」と言った。すると、すぐに鶏が鳴いた。</p>	<p>Mark 14:71 するとペテロは、嘘ならのろわれてもよいと誓い始め、「私は、あなたがたが話しているその人を知らない」と言った。</p>	<p>Luke 22:60 しかしペテロは、「あなたの言っていることは分からない」と言った。するとすぐ、彼がまだ話しているうちに、鶏が鳴いた。</p>	<p>John 18:27 ペテロは再び否定した。すると、すぐに鶏が鳴いた。</p>
<p>Matt. 26:75 ペテロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われたイエスのことばを思い出した。そして、外に出て行って激しく泣いた。</p>	<p>Mark 14:72 するとすぐに、鶏がもう一度鳴いた。ペテロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と、イエスが自分に話されたことを思い出した。そして彼は泣き崩れた。</p>	<p>Luke 22:61 主は振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「今日、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言います」と言われた主のことばを思い出した。 Luke 22:62 そして、外に出て行って、激しく泣いた。</p>	